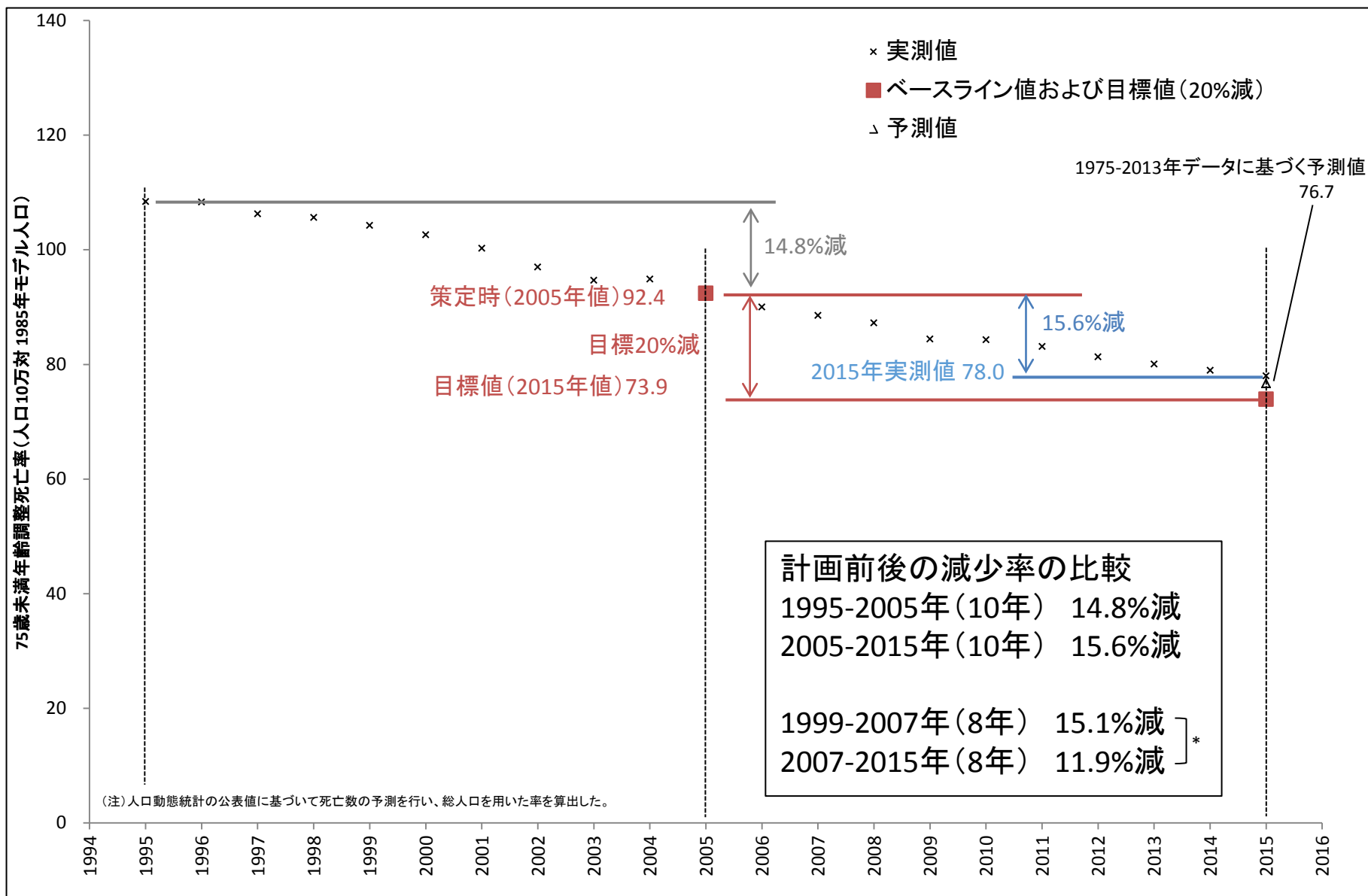


75歳未満年齢調整死亡率の全体目標の結果

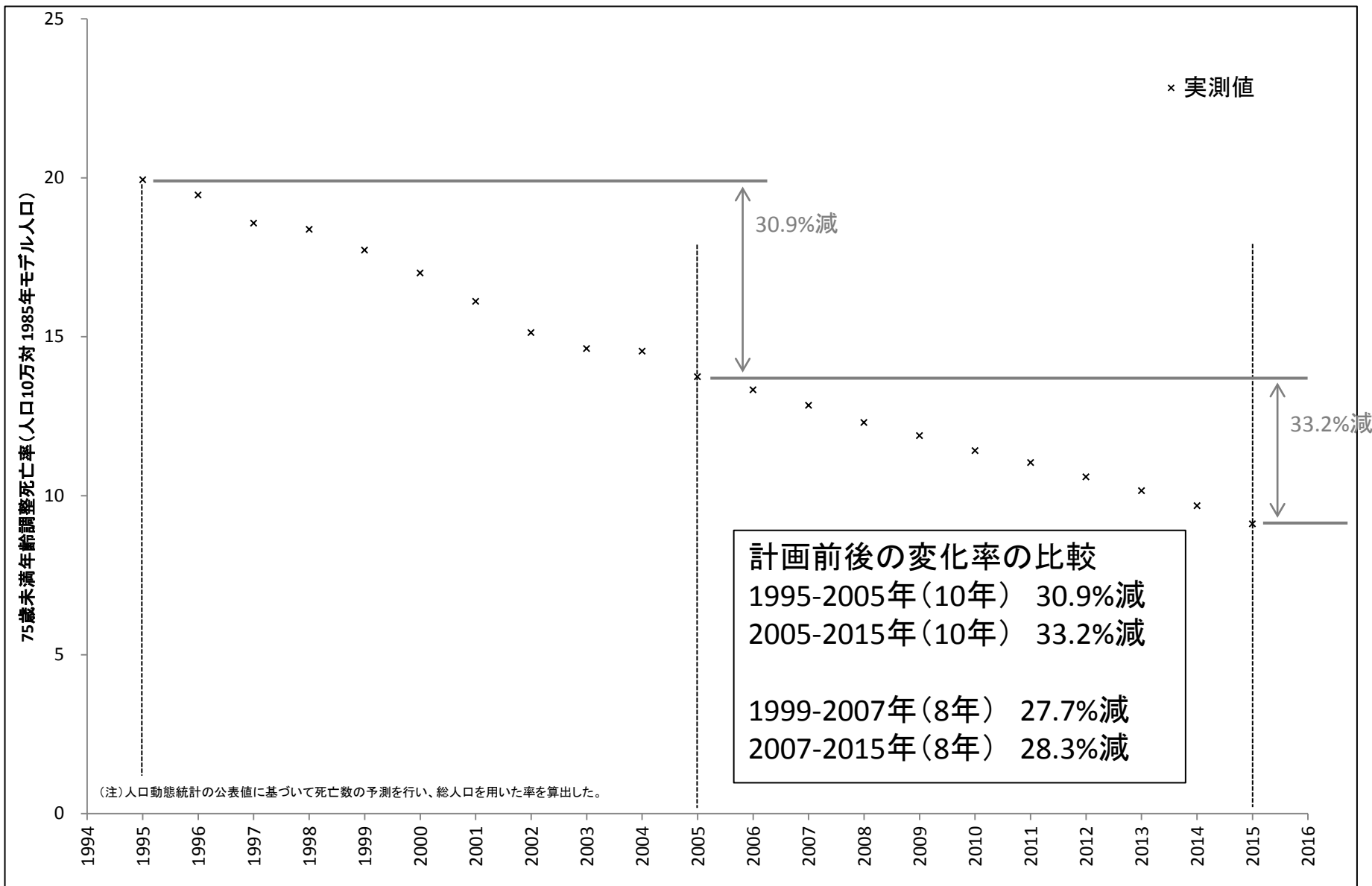


予測値の出典: 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/dl/index.html) pref_AllCancer_mortality(1995-2015).xls

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 胃がん 男女計

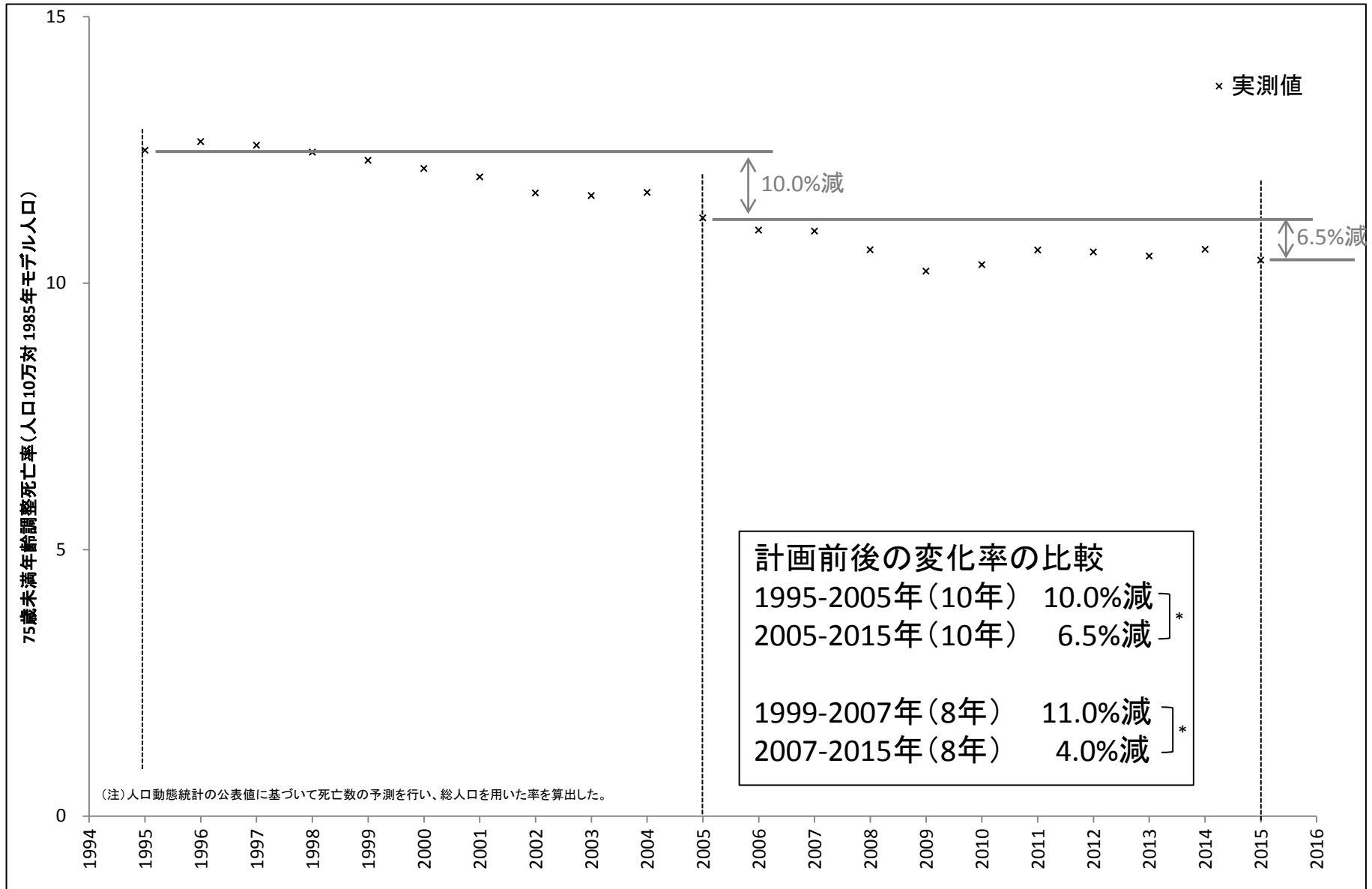


予測値の出典： 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典： 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 大腸がん 男女計

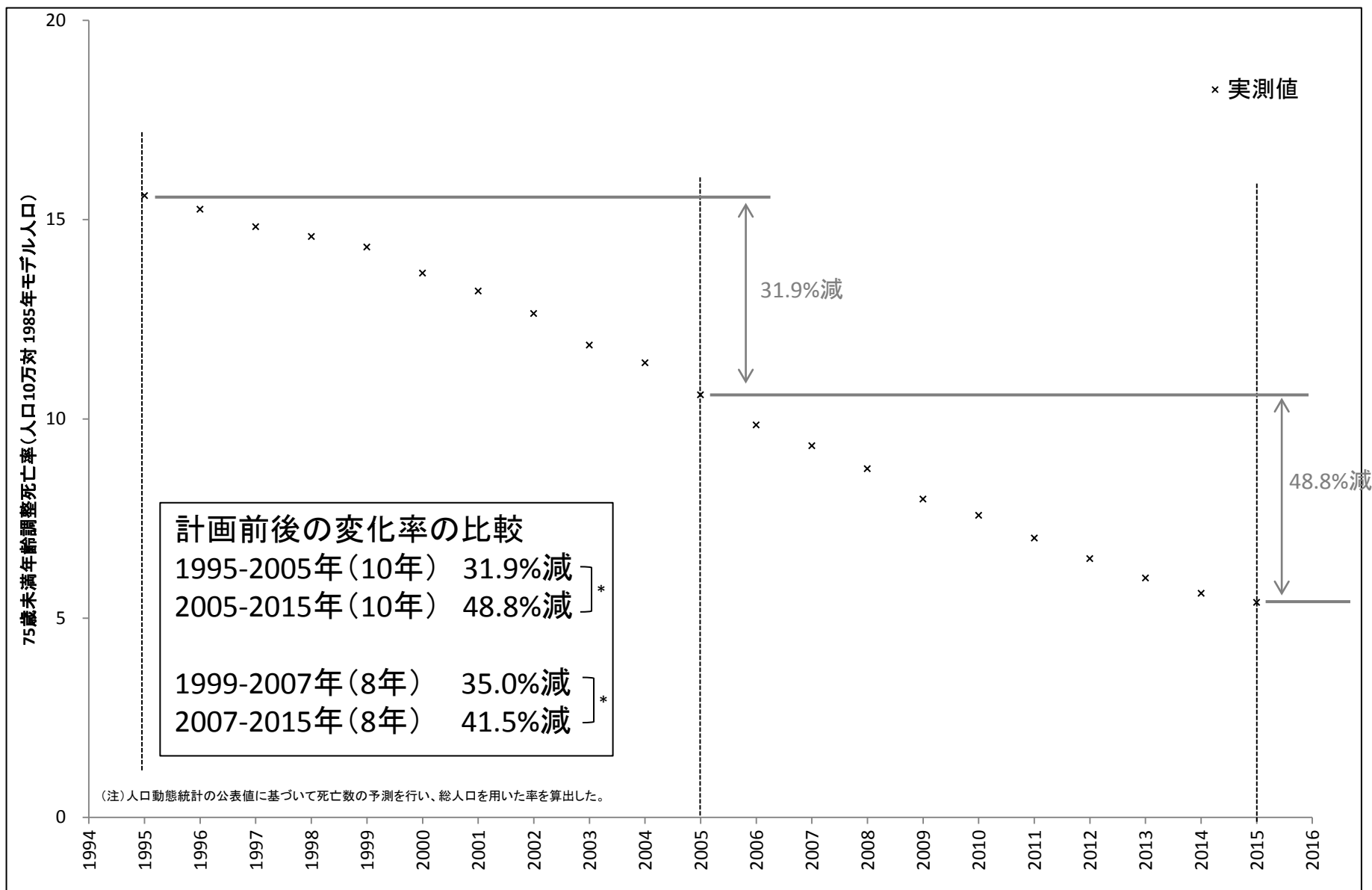


予測値の出典: 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 肝がん 男女計

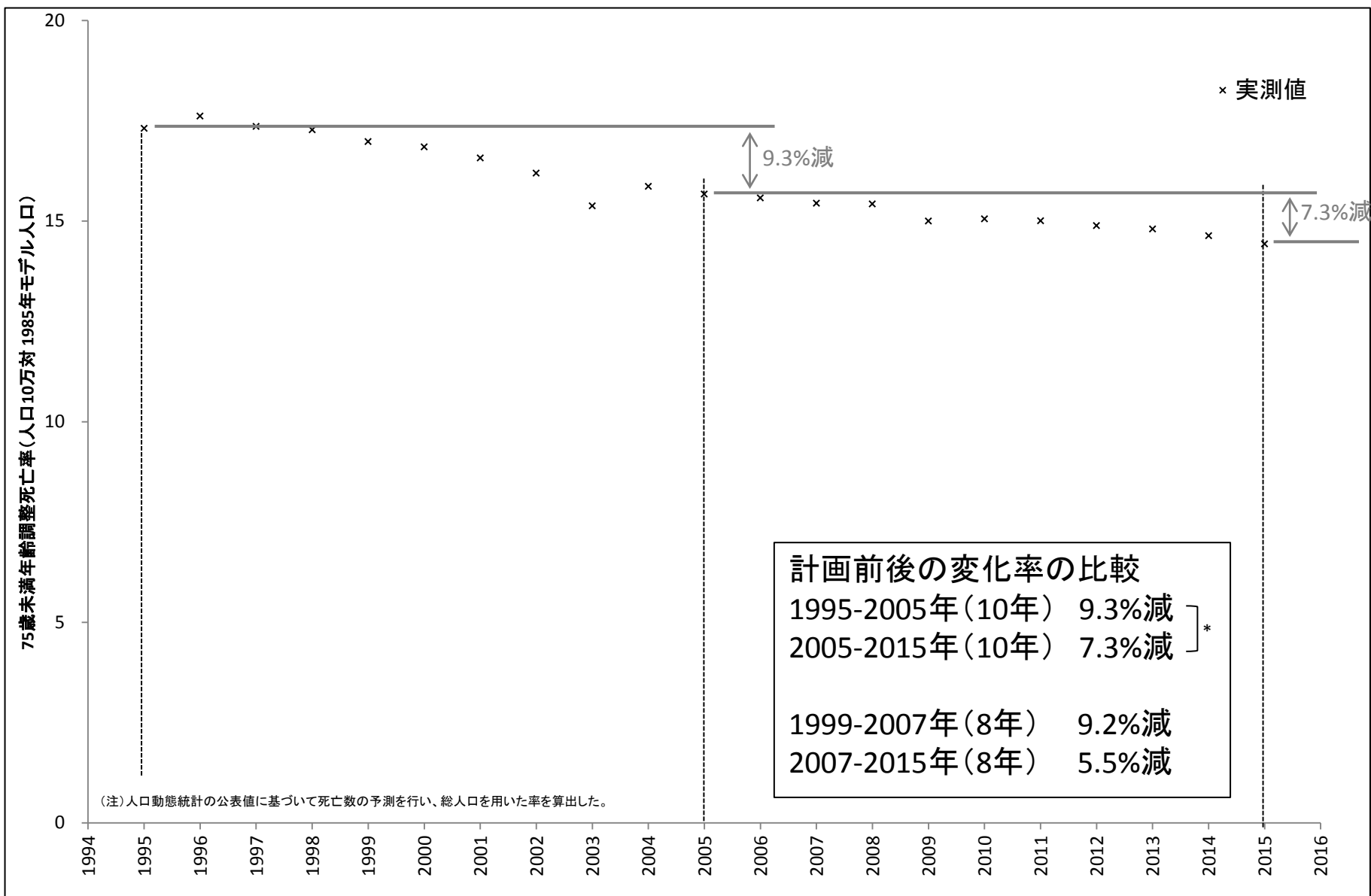


予測値の出典: 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 肺がん 男女計

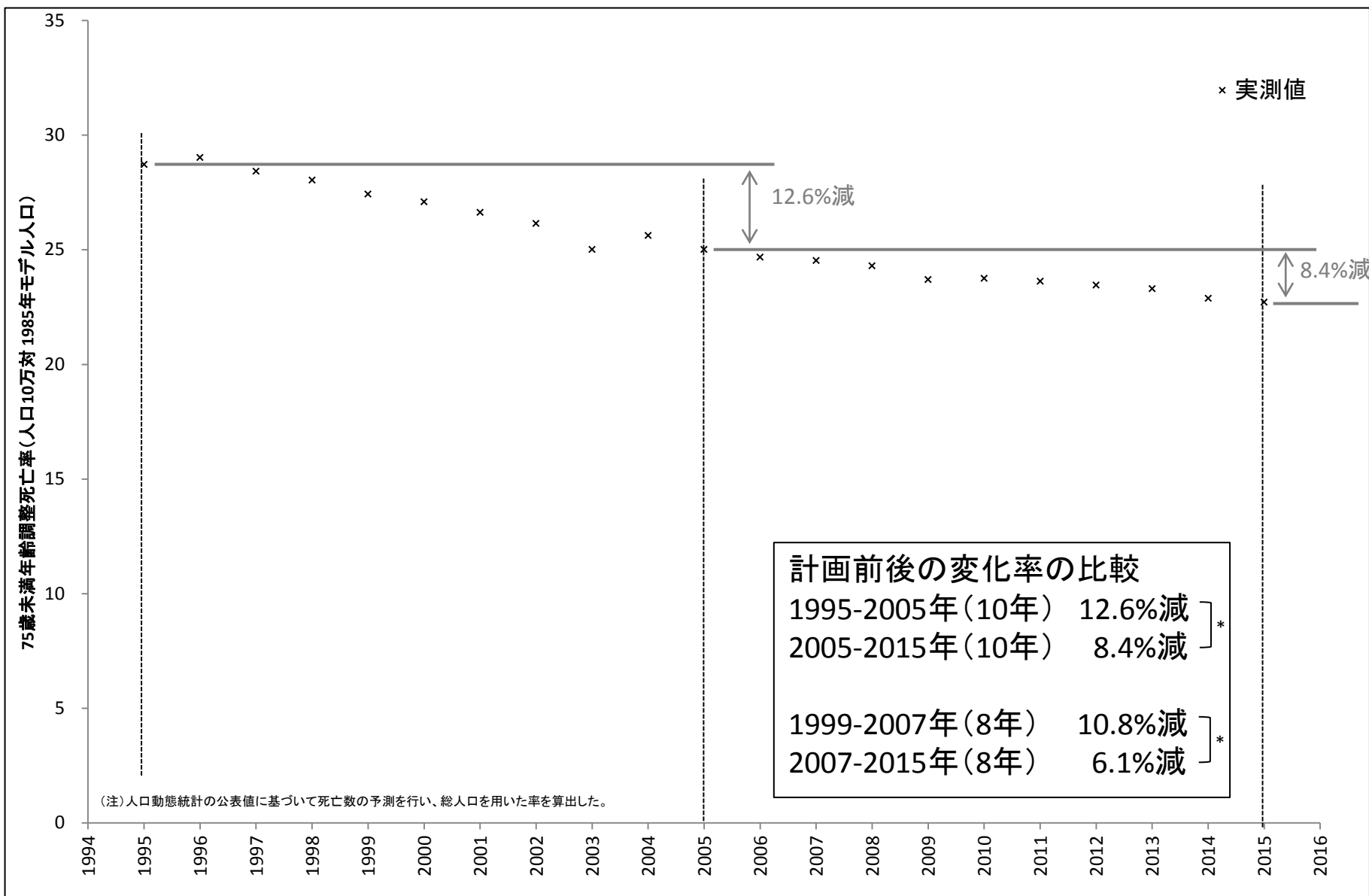


予測値の出典： 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典： 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 肺がん 男性

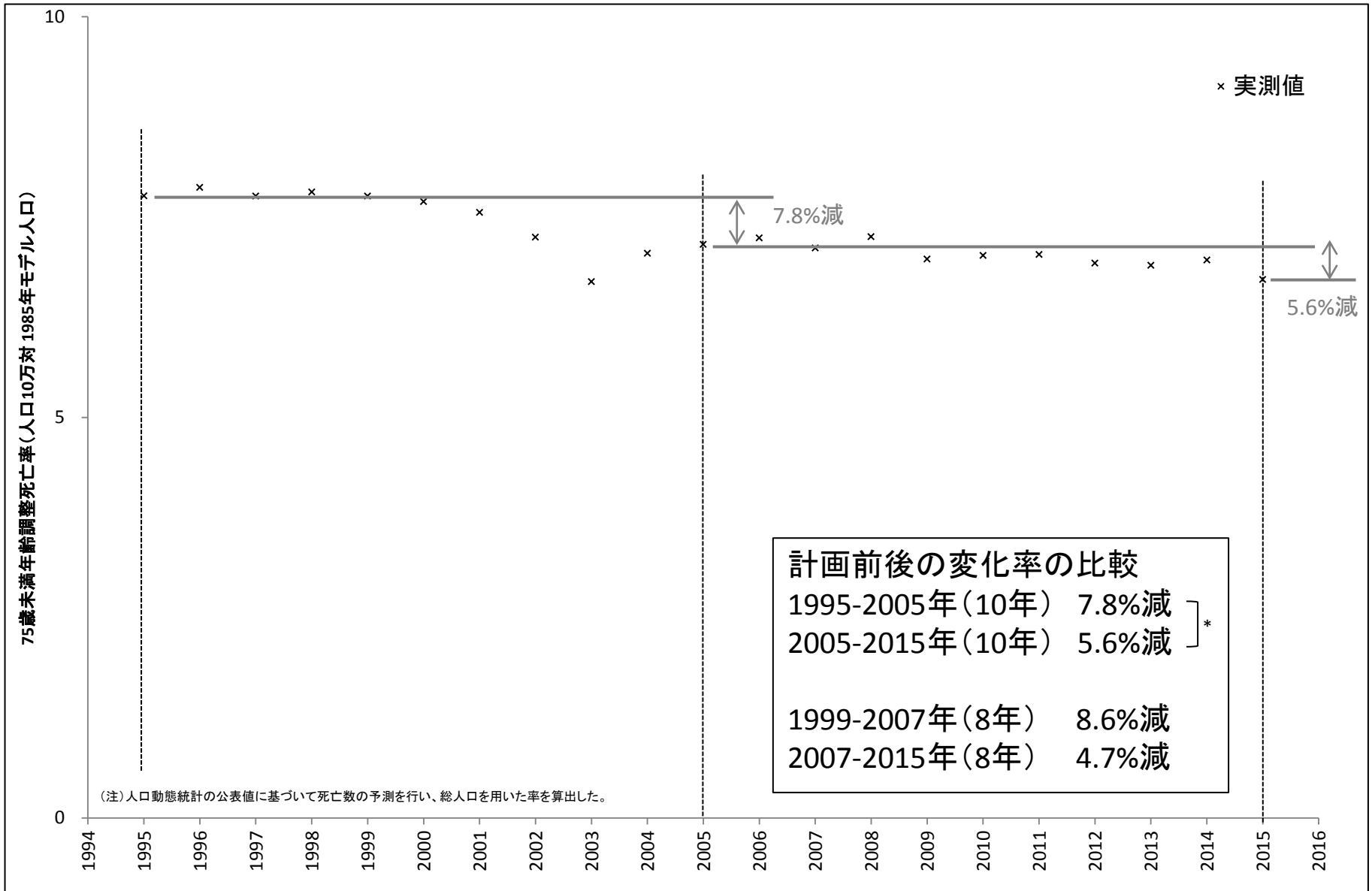


予測値の出典: 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 肺がん 女性

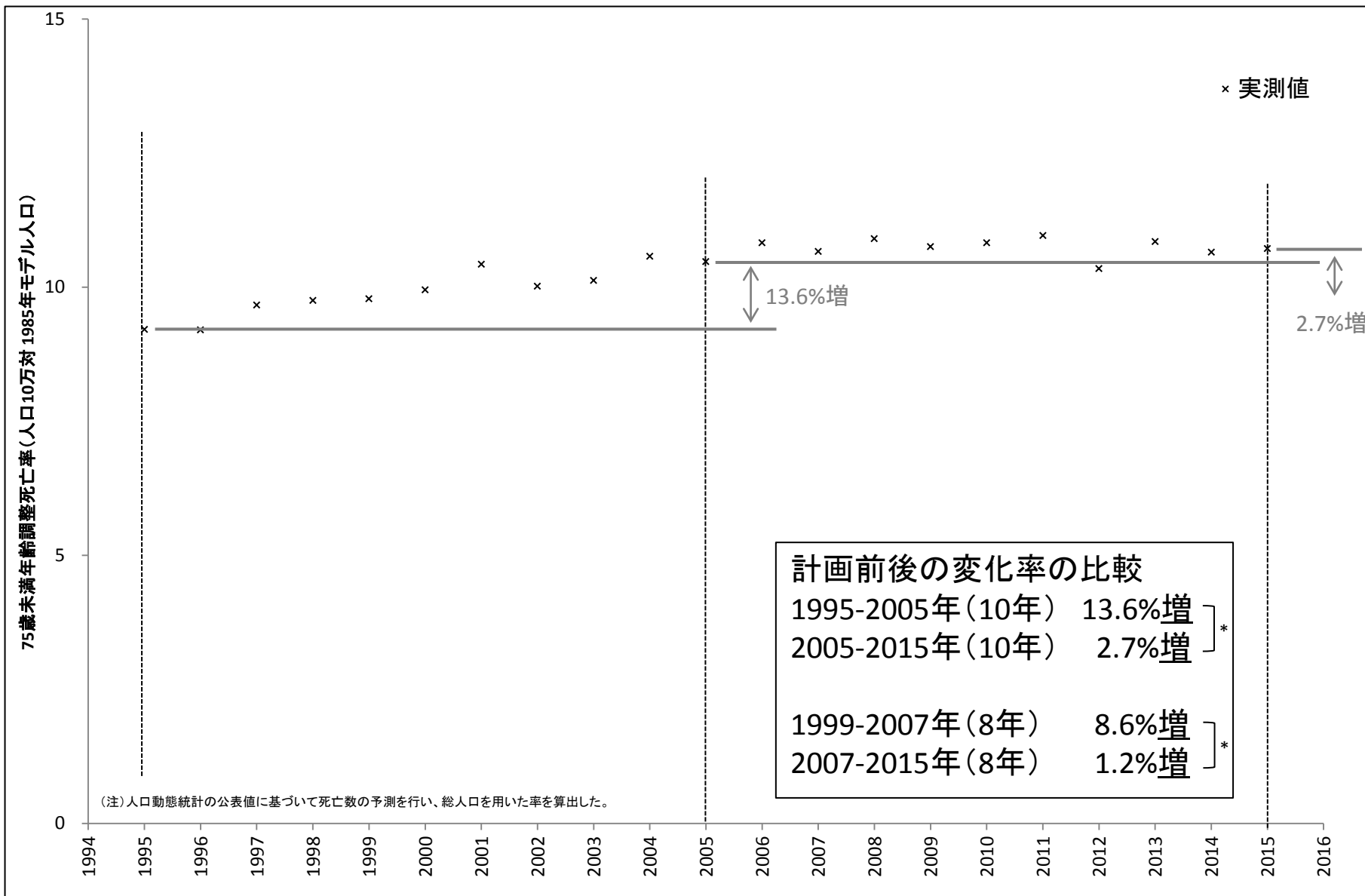


予測値の出典: 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 乳がん 女性

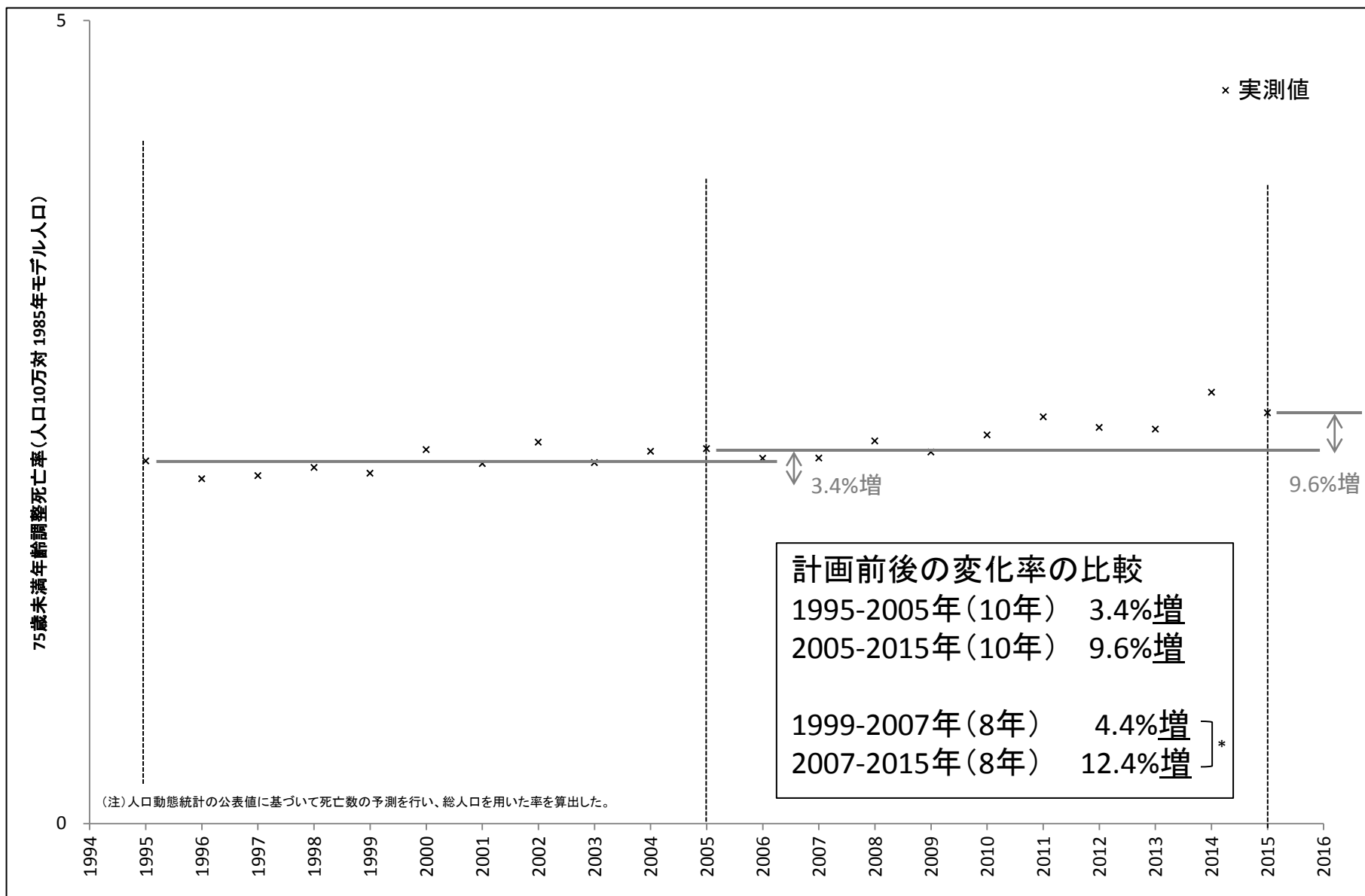


予測値の出典： 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典： 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

部位別 子宮頸がん 女性

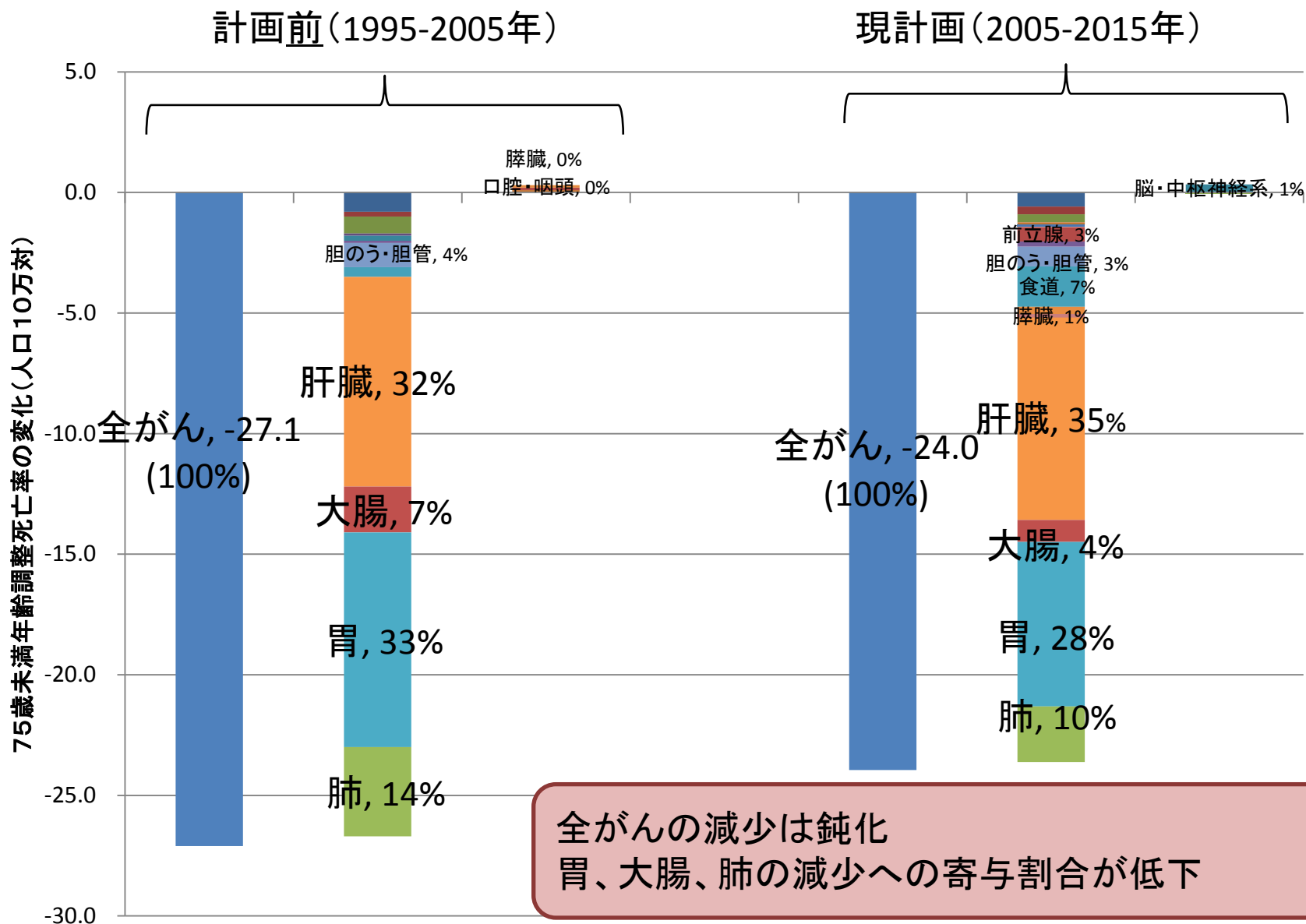


予測値の出典: 第51回がん対策推進協議会資料2 (Japanese Journal of Clinical Oncology 2014; 44: 36-41の手法による)

実測値の出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)

* 対数線形回帰をあてはめた場合の年変化率に統計学的有意差あり(p<0.05)

がん種別の寄与割合 男性

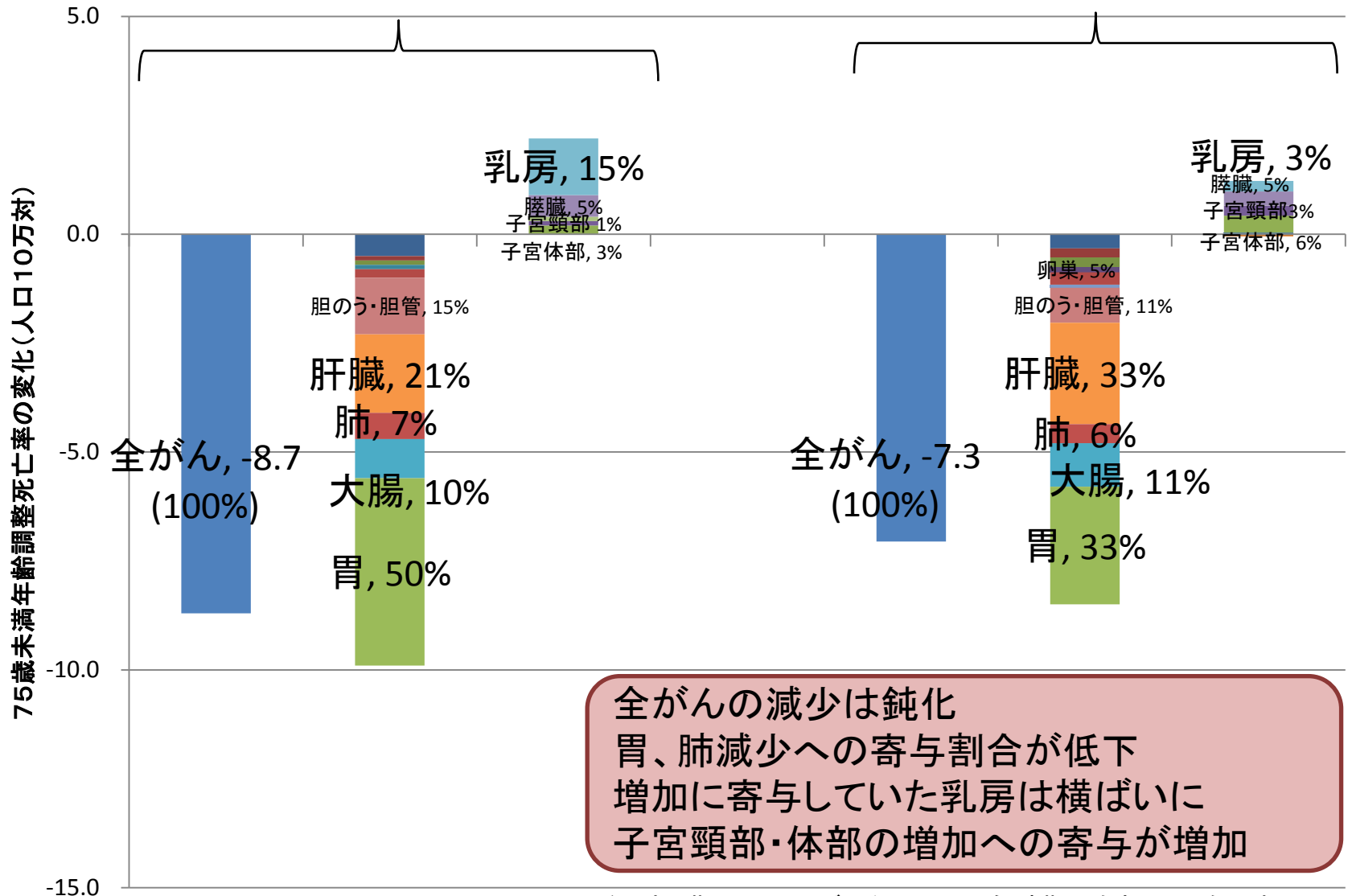


(注) 計画期間は死亡データの入手可能時期に合わせて2年遅れとしている
2015-2025年の値は1975-2014年データに基づく予測値で求めた

がん種別の寄与割合 女性

計画前(1995-2005年)

現計画(2005-2015年)



(注)計画期間は死亡データの入手可能時期に合わせて2年遅れとしている
2015-2025年の値は1975-2014年データに基づく予測値で求めた

まとめ

- がん対策推進基本計画の全体目標「がんの75歳未満年齢調整死亡率の20%減」は16%減にとどまった
- がん種別に計画前後の傾向を比較すると
 - － 計画後に減少が加速： 肝臓
 - － 計画後に増加が止まった： 女性乳房
 - － 計画前後でほぼ同じ減少： 胃
 - － 計画後に減少が鈍化： 大腸、肺
 - － 計画後に増加が加速： 子宮頸部
- がん対策加速化プランをはじめ、死亡率減少につながる対策を進める必要がある

都道府県別の結果

都道府県別 悪性新生物 75歳未満年齢調整死亡率 年次推移(男女計)

